

# 持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議について

## 1 会議の概要

- ・名称：持続発展教育（ESD）に関するユネスコ世界会議
- ・開催時期：2014年11月10日～12日  
※11月13日には、日本国内の関係者によるフォローアップ会合が開催
- ・会場：名古屋国際会議場（予定）
- ・主催：国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、日本政府
- ・参加規模：各国政府関係者など招待者1,000人規模  
※2012年10月現在、ユネスコ加盟国は195カ国。この他に、ステークホルダー等が参加予定
- ・内容：「国連ESDの10年」の活動を振り返るとともに、2014年以降の方策を議論する場
- ・形式：閣僚級会合、全体会合、分科会など

※この他に岡山市では、各種ステークホルダー（国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPOなど）会合を開催予定

## 2 会議開催の経緯

2002年 (平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において、日本政府が「ESDの10年」を提案</li> <li>・第57回国連総会において、「国連ESDの10年」を決議</li> </ul>
2005年 (平成17年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連ESDの10年（2005年～2014年）」が始まる  <small>《愛知万博が開催》</small></li> </ul>
2009年 (平成21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国連ESDの10年」世界会議（中間年会合）がドイツ・ボンで開催</li> <li>・第35回ユネスコ総会において、最終年会合を日本で開催することを決議</li> </ul>
2010年 (平成22年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>《生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催》</li> </ul>
2011年 (平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合の愛知・名古屋での開催が決定</li> </ul>

## 3 ESDとは

ESDとは、持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）の略語で、環境、貧困、人権、平和、開発といった、現代社会の様々な課題を身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そして、それにより持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を指します。\*



ESDの概念図\*  
 関連する様々な分野を“持続可能な社会の構築”の観点からつなげ、総合的に取り組む必要があります。  
※ 出典:「ユネスコスクールと持続発展教育」(日本ユネスコ国内委員会)

## 4 推進体制

- (1) ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会  
 設立時期：平成24年5月25日  
 設立目的：ESDユネスコ世界会議の開催支援、ESD普及啓発、取組促進  
 会長：愛知県知事  
 会長代行：名古屋市長  
 副会長：名古屋商工会議所会頭、中部経済連合会会長  
 委員：愛知学長懇話会代表幹事、中部ESD拠点代表、内閣官房内閣審議官、外務省地球規模課題審議官、文部科学省国際統括官、環境省総合環境政策局長、愛知県市長会会長、愛知県町村会会長、愛知県教育委員会教育長、名古屋市教育委員会教育長、愛知県副知事、名古屋市副市長、名古屋商工会議所専務理事、中部経済連合会専務理事
- (2) 愛知県ESDユネスコ世界会議支援本部  
 構成：知事（本部長）、4副知事、関係部局長18名
- (3) ESDユネスコ世界会議支援市町村連絡会議  
 構成：県内全市町村の課長級

## 5 ESDユネスコ世界会議成功に向けた取組

### (1) 会議支援・おもてなし

安全・安心で円滑な会議運営と快適な滞在をサポートし、国内外からの参加者におもてなしの気持ちをもって接することで、会議の成功に寄与します。

### (2) 魅力発信

世界的なモノづくりの地であり、歴史、文化と豊かな自然にも恵まれたサステイナブルなあいち・なごやの魅力を世界に向けて発信します。

### (3) ESD普及啓発

キャッチフレーズやロゴマークを活用した情報発信、啓発イベントの開催等により、ESDに対する理解の浸透と、開催機運を盛り上げてまいります。

### (4) ESD取組促進

様々な機関と連携し、ESDの根付いた地域づくりを推進します。

平和や文化の普及などユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するユネスコスクールを、2014年までに50校以上に増やす取組を進めてまいります。

#### <キャッチフレーズ>

未来を創るわたしを<sup>つく</sup>育<sup>はぐ</sup>むESD

#### <ロゴマーク>

デザインコンセプト

「つながり、ひろがり、開花する、ESD Flower。」

ESDをきっかけに、環境・開発・人権など様々な社会的課題をめぐる教育や、この地域の一人ひとりの思いや取り組みがつながっていく、というコンセプトを、'ε'をなぞらえた1本の線で表すとともに、この花びら全体を'E'、'S'、'D'の隠し文字で描かれています。

4枚の花びらは、「気づく」「知る」「行動する」「広げる」というESDのステップを表すとともに、花びらの中の暖色系のカラーは、ESDにかけるあいち・なごやの熱い思いと、ESDの成果が様々な分野で開花していく様子を表現しています。



#### <パートナーシップ事業の募集>

支援実行委員会と連携しながら、ESDの取組や普及啓発、ESDユネスコ世界会議のPRなどを行うことにより、ESDユネスコ世界会議の開催機運を盛り上げを図る事業・イベント等を募集しています。

